

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム南濃「福寿苑」

目標達成計画

作成日：平成 24年 4月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	現在、同一法人の4事業所合同で会議を開催し、情報の交換を行うことで、職員間で検討し、ケアに活かしている。しかし、個別の事業所毎の会議録がなく、運営に反映されているかが分かりにくい。	運営推進会議を個別に行い、議事録を残し そこでの意見をサービス向上に活かしていく。	4施設合同で開いている会議のうち、年度始め以外の会議を事業所毎で開くようにする。事業所で開いたときは、地域での具体的な取り組みや今後の課題について話し合い、サービス向上に活かしていくようにする。	12ヶ月
2	2	利用者が買い物に行った時、定員との会話場面を設定したり、保育園児の訪問、地域常時に案内をもらっている。しかし、地域の一員としての役割を担ったり、事業所の特性を活かした交流までには至っていない。	地域の一員としての役割を担い、利用者の生活支援をより高めるようにする。	地域で行われる活動や役割などには、積極的に参加をしていくようにする。また、入居の利用者も参加できる行事には、一緒に参加をし関わりを持つようにしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。